発議第10号

台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書

上記の議案を下記のとおり提出する。

令和3年12月15日

提出者

天野正剛	市川 正	児嶋喜彦	小山 悟	宮城島史人	長沼滋雄	浜田佑介
白濱史教	山本昌輝	鈴木直人	髙木 強	杉本 護	稲葉寛之	加藤博男
長島 強	宮澤圭輔	石井孝治	堀 努	島直也	寺澤 潤	平井正樹
尾崎行雄	寺尾 昭	後藤哲朗	山梨 渉	大石直樹	栗田裕之	風間重樹
宮城展代	池谷大輔	畑田 響	福地 健	望月俊明	大村一雄	松谷 清
内田隆典	佐藤成子	井上智仁	山本彰彦	安竹信男	白鳥 実	丹沢卓久
繁田和三	山根田鶴子	遠藤裕孝	石上顕太郎	井上恒彌	鈴木和彦	

台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書

本年、第72回WHO西太平洋地域委員会が、日本がホスト国となり、10月25日から29日まで 兵庫県姫路市において開催された。

世界保健機関(WHO) 西太平洋地域委員会は、日本を含む西太平洋地域に所属するWHO 加盟国(37の国と地域)の年次総会であり、域内加盟国及び地域の代表者により構成され、域内の保健福祉水準の向上のための対策などについて議論される。

加盟する37の国と地域には、香港やマカオ、グアムや北マリアナ諸島などが参加しているが、同じく西太平洋地域に属し、約2,360万人の人口を有する台湾については、参加が実現していない。

台湾には日本人24,280人(平成30年外務省発表)が滞在し、新型コロナウイルス感染症が拡大する前には日本と台湾の間を往来する旅客は延べ710万人を超えている。

また、静岡市においては、富士山静岡空港から直行便が運航され、台湾からの観光客を積極的に誘致していることから、新型コロナウイルス感染症が沈静化した後には再び往来が活発化することが期待される。

台湾は、航路、金融、観光、産業、貿易などのハブでもあり、台湾を離着陸または経由する 旅客は年間6,900万人近く存在することを踏まえれば、WHOに台湾が参加できないことは、 防疫にかかる地理的空白の発生を許すこととなり、日本や台湾だけでなく全世界の人々の健康 を脅かしかねない。

よって、台湾のWHOへの参加について、日本国として必要な措置を講じるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

[提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官]